
**スポーツ庁委託事業
令和5年度スポーツキャリアサポート支援事業における
カンファレンス運営業務**

報告書

2024年3月15日

Athlete Career Challenge カンファレンス2024

**競技を通じて培われるアスリート人材のチカラを社会へ
～中央競技団体、企業スポーツ等におけるアスリートのキャリア開発への取り組み～**

開催概要

実施目的

- スポーツ庁「スポーツキャリアサポート支援」事業 並びにスポーツキャリアサポートコンソーシアムのコンセプトを発信
- 育成したアスリートキャリアコーディネーターの主旨と今後の展望について発信
- アスリートの人材価値を社会に広く発信

実施概要

- イベント名 : スポーツ庁委託「スポーツキャリアサポート支援」事業
Athlete Career Challengeカンファレンス 2024
競技を通じて培われるアスリート人材のチカラを社会へ
～中央競技団体、企業スポーツ等におけるアスリートのキャリア開発への取り組み～
- 主催 : スポーツキャリアサポートコンソーシアム
- 企画 : スポーツキャリアサポートコンソーシアム運営委員会
- 運営 : 株式会社フューチャー・デザイン・ラボ
(スポーツ庁令和5年度「スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営」受託事業者)
株式会社MPandC
- 開催日時 : 2024 年 3 月 2 日 (土) 13:00~16:30
- 参加方法 : リアル会場開催とライブ配信によるオンライン開催
- 会場 : トラストシティカンファレンス神谷町
(東京都港区虎ノ門4-1-1 神谷町トラストタワー 2階)
- 対象・人数 : 一般申し込み(リアル開催もしくはオンライン配信Zoom/YouTube)
リアル会場上限150名、オンライン配信上限なし

進行構成

No	時間	LAP	プログラム	登壇者
1	13:00	1.5	オープニング映像	
2	13:02	5	SCSC会長挨拶	高橋 義雄 会長
3	13:07	5	スポーツ庁事業説明	室伏 広治 スポーツ庁長官 (動画)
4	13:12	60	プログラム1	○ファシリテーター： 松田 丈志 氏 ○登壇者： 立花 泰則 氏、長野 宏美 氏、清野 隼 氏
5	14:12	50	プログラム2	○ファシリテーター： 田沼 泰輔 氏 ○登壇者： 浅井 公一 氏、山之内 克憲 氏、山根 成友 氏、 友井川 拓 氏、上田 竜太郎 氏
6	15:02	13	フォトセッション	
7	15:15	40	プログラム3	○ファシリテーター： 田沼 泰輔 氏 ○登壇者： 丹野 朝香 氏、山田 貴子 氏、杉原 龍馬 氏
8	15:55	30	プログラム4	○ファシリテーター 藤田 真也 氏 ○登壇者 坂田 賢二 氏、善福 真凧 氏、正垣 源 氏、 鳥木 千鶴 氏
9	16:25	2	閉会挨拶	竹原 啓二 事務局長
11	16:30		懇親会開始	

プログラム

開催趣旨

アスリートキャリアに関して、スポーツ内外の知見を共有し、スポーツ庁が推進するスポーツキャリアサポートコンソーシアムの取組を広く社会に発信し、事業の推進を図る。

事業説明 「スポーツキャリアサポート支援事業について」



スポーツキャリアサポートコンソーシアム
筑波大学人間総合科学学術院准教授
高橋 義雄 氏



スポーツ庁長官
室伏 広治 氏

PROGRAM 01 アスリートのキャリア開発について3団体のゲストをお迎えし、トークセッションを行います。

アスリートのキャリア開発に関する 中央競技団体の取り組み



公益財団法人日本体操協会
情報医科学アンチ・ドーピング委員会 委員長
立花 泰則 氏



公益財団法人日本テニス協会
アスリート委員会 副委員長
長野 宏美 氏



公益社団法人日本ボブスレー
リュージュ スケルトン連盟 医・科学部長/桐生大学
JOC専任ハイパフォーマンスアシスタントディレクター
清野 隼 氏



JOCアスリート委員会委員長
ファシリテーター **松田 丈志 氏**

PROGRAM 02 スポーツを支える大手企業・プロチームでの先進的な事例を紹介いただきます。

プロチーム・企業スポーツを持つ企業の取り組み事例

ファシリテーター
田沼 泰輔 氏

株式会社ダイバリティ総合研究所代表取締役所長
事業構想大学院大学特任教授

NTTコミュニケーションズ株式会社



ラグビーチーム
社員アスリートへの
取り組み

友井川 拓 氏
上田 竜太郎 氏
(元ラグビー選手)

ヒューマンリソース部 人材・組織開発部門
キャリアコンサルティング・ディレクター
浅井 公一 氏

トヨタ自動車株式会社



トヨタアスリートに対する
キャリア形成の取り組み

トヨタスポーツ推進部
企業スポーツ室 企業スポーツ推進G
山之内 克憲 氏

株式会社横浜DeNAベイスターズ



プロ野球チーム
横浜DeNAベイスターズ
におけるキャリア課題と
取り組みについて

チーム統括本部
チームディベロップメント部 部長
山根 成友 氏

PROGRAM 03

アスリート人材の可能性

アスリートのキャリア形成について実際にキャリアチェンジを果たしたアスリート3名にお話を伺います。

- 企業スポーツ選手 ▶ 農業
丹野 朝香 氏 (元ソフトボール選手)
- 企業スポーツ選手 ▶ 広島市立高校教諭
山田 貴子 氏 (元陸上長距離選手)
- Jリーガー ▶ 外資系証券会社
杉原 龍馬 氏 (元サッカー選手)

ファシリテーター 田沼 泰輔 氏

株式会社ダイバリティ総合研究所 代表取締役所長
事業構想大学院大学 特任教授

PROGRAM 04

ACCの活動事例

ACCの取り組み事例を共有し、アスリートのキャリア開発についてトークセッションを行います。

- ジュニア・企業アスリート・プロ選手等への取り組み
坂田 賢二 氏 センコーグループホールディングス株式会社
- サッカー選手のキャリア支援への取り組み
善福 真風 氏 一般社団法人国際スポーツキャリアセンター代表理事
- 障がい者スポーツ競技団体への取り組み
正垣 源 氏 株式会社スポーツフィールド
- 公立高校サッカー部への取り組み
鳥木 千鶴 氏 朝日放送テレビ株式会社

ファシリテーター 藤田 真也 氏

特定非営利活動法人 キャリアカウンセリング協会 理事長

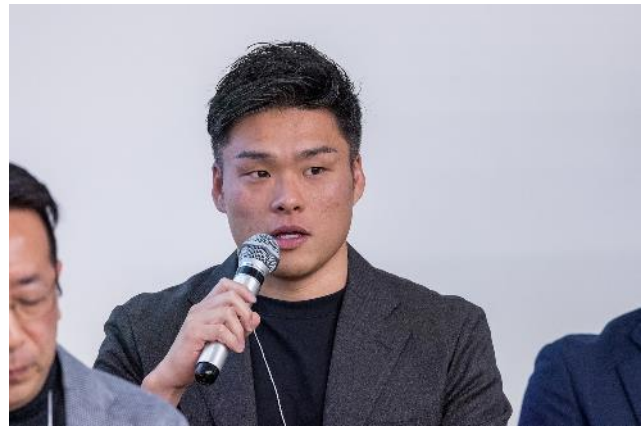
記録写真

- 関係者と参加者、メディアの受付を分けて対応。席次も関係者、登壇者、参加者の席が分かるように席札を準備した。













トークセッション後には、会場横のロビーにて名刺交換交流会が行われた。

広報・PR

集客と告知については、Athlete Career Challenge カンファレンス2024のチラシの作成、PR TIMESでの掲載、申し込みサイトの作成、メディアへの取材申し込み書の配布、事後速報リリースの配信を実施した。

チラシの作成

スポーツ庁委託事業「令和5年度スポーツキャリアサポート支援事業」

Athlete Career Challenge カンファレンス 2024

競技を通じて培われる アスリート人材のチカラを社会へ

～中央競技団体、企業スポーツ等におけるアスリートのキャリア開発への取り組み～

PROGRAM 01 アスリートのキャリア開発について3団体のゲストをお迎えし、トークセッションを行います。

アスリートのキャリア開発に関する 中央競技団体の取り組み

公益財団法人日本サッカー協会
会長兼日本サッカー連盟強化部部長
立花 繁則 氏

公益財団法人日本弓道連盟
アスリート部長 部長兼
長野 宏美 氏

公益財団法人日本柔道連盟
リソース・マネジメント部長 部長兼
JOC強化部（ハイパフォーマンス）アシスタントディレクター
清野 孝 氏

JOC強化部・強化部長
ディレクター **松田 文志 氏**

PROGRAM 02 スポーツを支える大手企業・プロチームでの先進的な事例を紹介いただきます。

プロチーム・企業スポーツを持つ企業の取り組み事例

クラブチーム
田邊 金輔 氏
株式会社オビエス・スポーツ・グループ取締役兼代表取締役社長
兼東京大学スポーツ学部に所属

NTTコミュニケーションズ株式会社

ラグビーチーム
北九州サンウルブズの
強化部長

専任員
上田 竜太郎 氏
(スポーツ・課長)

ヒューマンリソース課 人材開発部副部長
キャリア・コミュニケーション・センター
浅井 公一 氏

トヨタ自動車株式会社

トヨタ・スポート・チームに
所属する
キャリア開発の専任職員

トヨタ・スポート・チーム
企業スポーツ推進
山之内 寛憲 氏

株式会社横浜DeNAベイスターズ

プロ野球チーム
横浜DeNAベイスターズ
に所属するキャリア開発
の専任職員について

チーム総務部長
チーム・コミュニケーション・推進
山根 成友 氏

2024年

3月2日

13:00～16:30 (210分)

参加費無料

リアル・オンライン
での開催になります

参加方法

下記サイトまたは、QRコードより
お申し込みください

<https://jpsasmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/20240209csebp01.html>

申込締切日 **3月22日 / オンライン 2月29日**

申し込みの締め切りを過ぎるに該当いたします。オンライン参加は申込締切日となります。

リアル
開催場所

トヨタシティ カンファレンス・センター
東京都港区虎ノ門1丁目1-1 3F 301号室(トヨタタワー2階)

主催

スポーツ庁
JPSA 代表理事 佐々木 健

SPORT
JPSA 代表理事 佐々木 健

Athlete Career Challenge カンファレンス 2024

PROGRAM 03

アスリート人材の可能性

アスリートのキャリア形成について実習にキャリアアジェンジャを果たしたアスリート3名にお話を伺います。

● 企業スポーツ選手 田 勇典

丹野 朝智氏(元フットボール選手)

● 企業スポーツ選手 ② 広島市立高校教諭

山田 貴子氏(元陸上長距離選手)

● リーダー ▶ 外資系証券会社

杉原 龍馬氏(元サッカー選手)

ファシリテーター 田沼 泰輔氏

株式会社ダイバリティ代表取締役 株式会社アジェンジャ代表取締役 東京経済大学准教授 社会学者

PROGRAM 04

ACCの活動事例

ACCの取り組み事例を共有し、アスリートのキャリア開発についてトークセッションを行います。

● ジュニア・企業アスリート・プロ選手への取り組み

坂田 賢二氏 センゾーグループホールディングス株式会社

● サッカー選手のキャリア支援への取り組み

菅根 真弘氏 一般社団法人日本スポーツキャリアセンター代表理事

● 障がい者スポーツ競技団体への取り組み

正垣 遼氏 株式会社スポーツ・アフィリエイト

● 公立高校スポーツ部への取り組み

島本 千鶴氏 株式会社デライト株式会社

ファシリテーター 藤田 真也氏

特定非営利活動法人 キャリアカンセリング協会 理事長

タイムスケジュール | 3月2日金 13:00~16:30(21分)

13:00……開会挨拶

13:05……スポーツ庁事業説明

13:10……アスリートのキャリア開発に関する中央競技団体の取り組み

14:15……プロチーム・企業スポーツを持つ企業の取り組み事例

15:10……アスリート人材の可能性

15:50……ACCの活動事例

スポーツキャリアサポートコンソーシアムとは

アスリートが安心してスポーツに取り組むことができるキャリア形成の環境を構築するため、スポーツ庁委託事業「スポーツキャリアサポート推進戦略」の一環として「スポーツキャリアサポートコンソーシアム」が2017年2月に創設されました。本コンソーシアムはスポーツ界、教育界、経済界などが連携して、アスリートのキャリア課題について、検討、解決策を提言するなどの役割が期待される事業や情報を共有しながら、連携・協働・支援を促進することを目的としています。

スポーツキャリアサポートコンソーシアム
代表理事 河合 勝彦氏

会長 岩間 浩治氏

SPORT
CAREER SUPPORT
CONSORTIUM

スポーツキャリアサポートコンソーシアム事務局

E-mail: sportcareer@futuredesignlab.jp TEL: 03-6222-9855

当事務局の運営は、スポーツ庁令和5年度「スポーツキャリアサポートコンソーシアムの運営」事業です。

主催:スポーツキャリアサポートコンソーシアム 委託事業者:株式会社フューチャー・デザイン・ラボ 運営:株式会社MPandP

PR TIMESでの告知

2024年2月14日13時にPR TIMESにて以下のプレスリリースを掲載。
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000008.000073531.html>

PR TIMES プレスリリース・ニュースリリース配信サービスPR TIMES

プレスリリースを受信 企業登録申請 ログイン

Top | テクノロジー | モバイル | アプリ | エンタメ | ビューティー | ファッション | ライフスタイル | ビジネス | グルメ | スポーツ

 スポーツキャリアサポートコンソーシアム事務局

会社概要 プレスリリース

フォロー

【3月2日開催】スポーツ庁委託事業「令和5年度スポーツキャリアサポート支援事業」Athlete Career Challenge カンファレンス 2024

競技を通じて培われるアスリート人材のチカラを社会へ ～中央競技団体、企業スポーツ等におけるアスリートのキャリア開発への取り組み～

スポーツキャリアサポートコンソーシアム

2024年2月14日 13時00分



スポーツ庁委託事業「令和5年度スポーツキャリアサポート支援事業」

Athlete Career Challenge カンファレンス 2024

競技を通じて培われる
アスリート人材のチカラを社会へ

～中央競技団体、企業スポーツ等におけるアスリートのキャリア開発への取り組み～

集客・申し込みサイト

PassMarketにて以下の広報サイトと申し込みサイトを作成。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02crcpsebpi31.html>

イベント情報

主催者情報

当日の受付方法

スポーツ庁委託事業「令和5年度スポーツキャリアサポート支援事業」
Athlete Career Challenge カンファレンス2024
競技を通じて培われるアスリート人材のチカラを社会へ
～中央競技団体、企業スポーツ等におけるアスリートのキャリア開発への
取り組み～

1. 開催日時

2024年3月2日 13時～16時30分

2. 参加費、開催方法、参加対象者

○参加費：無料

○開催方法：

①東京都内（港区）でのリアル開催

②ライブ配信での開催（YouTubeまたはZOOMウェビナー）

⇒チケットを申し込むボタンから希望の参加方法（リアル開催、YouTube視聴、
ZOOMウェビナー参加）をご選択ください。

①東京都内（港区）でのリアル開催 ※申込締切 2024年2月22日(木)

* 定員 150名

○参加対象者

- ・スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）会員
- ・社会人・学生アスリート
- ・プロスポーツ選手
- ・中央競技団体関係者
- ・アスリートの指導者
- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（日本スポーツ協会公認スポーツ指導者更新
研修申請中）

チケットを申し込む

販売
期間 2024/2/2(金) 00:00～
2024/2/29(木) 23:59

[PassMarketのチケットについて](#)

チケット情報

① このチケットは主催者が発行・販売します

① 東京都内（港区）でのリアル開催

無料

受付中

② ライブ配信での開催（YouTube視聴）

無料

受付中

③ ライブ配信での開催（ZOOMウェビナー） ※日本スポーツ協会公認スポーツ指導者更新研修認定事業

無料

受付中

チケットの取出し方法

チケットは[こちら](#)または
お申し込み時に登録したメールアドレス
よりご確認ください。

お問い合わせ先

メディアへの周知を実施。

◆実施概要◆

日時：2023年2月2（土）日 13:00～16:30（振込受付 12:30～予定）
会場：ポストアスロシティ オンラインセミナー・拝啓会
プログラム概要： 内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。

13:00～13:05【開演挨拶】
13:05～13:10【発表説明：スポーツ庁「スポーツキャリアサポート」支援事業について】
13:10～14:10【プログラム1：アスリーのキャリア開発に関する専任技術団体の取り組み】
14:10～15:05【プログラム2：アスリート企業へのキャリアサポートをもつ企業の取り組み事例】
15:05～15:45【プログラム3：アスリートのキャリア開発】
15:50～16:30【プログラム4：ACCの活動事例】

※各講演者一言ずつ

【プログラム1：アスリーのキャリア開発に関する専任技術団体の取り組み】

- 松田 文彦氏（JOC アスリート委員会委員兼/マガジン—ユーレディ&ダズ株式会社）
- 佐々 智樹氏（公益財団法人日本体育協会 情報国際学アカデミー・ドメイン委員会 委員長）
- 杉野 充孝氏（公益財団法人日本テニス協会のスポーツ・委員会 運営委員）
- 渡部 幸氏（公益社団法人日本バスケットボール・リーグ スカウト選抜団、科学選抜団、横浜大学JOC専任アドバイザー、チーム統括部長 サムデイインテリジェント）

【プログラム2：アスリートの企業連携事例をもつ企業の取り組み事例】

- 浜田 智樹氏（株式会社ダイバリティ・総合研究所 代表取締役所長/事業興隆大学院大 特任教授）
- 浅井 尚一氏（NTT コミュニケーション株式会社コミュニケーションズ本部）
- 八村 道雄様専門 キヤリアコンサルティング・デザインセンター）
- 内田 広明氏（トヨタ自動車株式会社 スポーツ・総務部、地域貢献課 企業スポーツ推進、文化、教育グループ）
- 山崎 康夫氏（株式会社Deleplus エキスパート、チーム統括部長 サムデイインテリジェント 部長）
- 友利和子氏（元アスリート 現（元）アサヒ選手 トレーナー・コーチ NTTコミュニケーションズ株式会社）

【プログラム3：アスリートの人材の可能性】

- 浜田 智樹氏（株式会社ダイバリティ・総合研究所 代表取締役所長/事業興隆大学院大 特任教授）
- 丹羽 朝志氏（元ソフトボール選手 企業スポーツ推進士兼選手）
- 川島 貴洋氏（元陸上競技選手 企業スポーツ選手 トレーニング指導員高校教諭）
- 野村 康夫氏（元サッカー選手 トレーナー・海外在籍証券会社）

【プログラム4：ACCの活動事例】

- 藤田 真由氏（特定非営利活動法人キャリアーズ・アソシエーション 理事）
- 坂田 賢二氏（モンゴリアーズオープンディングス株式会社）
- 芳部 真良氏（一般社団法人即興スポーツキャリアサポート代表理事）
- 近藤 謙氏（株式会社スポーツ・テクノロジー）
- 島本 千穂氏（朝日放送テレビ株式会社）

◆スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）とは、
2017年2月にスポーツ庁受託事業の一環として、アジアのトップアスリート育成と発展を目的に組織された。現在、固定観念にとらわれ109団体で加盟している。2024年1月現在、SCSCは、スポーツ庁、経済産業省、教育基本法の関係・法等から構成し、「協議と共有」を理念に運営してきている。本カンファレンスは、これらの発展をスポーツの内外に発信するとともにスポーツの内外の専門視点の交流を、ネット上で促進することを目的としています。

主催 取材申請に関する問い合わせ先
株式会社 ユース・フロンティア モンパレー
担当 皇 (e-mail: piumon@yfrp.com / Tel:080-2160-2757)

19

メディア申し込みサイトを開設。

事後速報リリースの配布

3月2日のACCカンファレンス後、18時にPR TIMESにて以下の事後速報リリースを配信した。
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000073531.html>



アンケート

アンケートの回収率を増やすため、閉会後のスライドに以下のアンケートへの誘導スライドを提示し回答を促した。スライドにはQRコードを提示し、視聴者がスマートフォンでも回答できるようにするとともに、チャットでもURLを送付し回収率の向上に努めた。

今年度の新しい取り組みとして、アンケートのQRコードとともに当日のカンファレンスの写真をダウンロードできるサイトのQRコードを記載したチラシを作成し、来場者の座席へ配架した。

スポーツ庁「スポーツキャリアサポート支援事業」の今後の推進のために、
本カンファレンスのアンケートにご協力ください。



回答締切：2024年3月6日（水）23:59まで

※日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を更新するためには、
本アンケートの回答は必須となります。

アンケートはMicrosoft Formsを使用し、PCやスマートフォンなどでもアクセスできるようにし、利便性を高めた。

スポーツ庁「令和5年度スポーツキャリアサポート支援事業」 Athlete Career Challenge カンファレンス 2024視聴者アンケート

Athlete Career Challenge カンファレンス2024は視聴者が多く見られました。今後のカンファレンスやスポーツキャリアサポートプログラム開発への参考とさせていただきますので、本アンケートにご協力ください。

1. お名前 *

回答を入力してください

2. ご連絡先（メールアドレス） *

回答を入力してください

3. 年齢 *

回答を選択

4. 性別 *

回答を選択

5. 職業 *

回答を選択

6. 今までにスポーツの経験はありますか？ *

☐ ある

☐ ない

7. 競技レベルについて教えてください。 *

☐ 市町村レベルの競技大会や大会参加経験

☐ 地区選手権レベル

☐ 全国大会出場レベル

☐ 国内大会（インターナショナル）出場レベル

☐ 海外大会（アジア・欧米）出場レベル

☐ 世界大会（オリンピック）出場レベル

☐ その他

8. 所属 *

スポーツ関係は協会・団体の所属経験としてあり、スポーツ関係者（指導員・審判員・競技役員等）・スポーツ協会・スポーツ庁等（プロ・アマは関係ない）と、スポーツ関係者以外の方には関係ありません。

回答を選択

9. 所属先（任意）

回答を入力してください

10. 本カンファレンスをどちらでご覧になりましたか？ *

結果、345名の方にご回答いただいた。

カンファレンス写真ダウンロードサイト開設

今年度の新しい取り組みとして、当日のカンファレンスの写真をダウンロードできるサイトを開設し、来場者特典として当日のチラシに掲載・座席へ配架した。こちらは来場者のSNSでの発信を促すことが狙いである。チラシにはアンケートのQRコードも掲載し、来場者からのアンケートの回収率向上を目指した。

スポーツ庁委託事業「令和5年度スポーツキャリアサポート支援事業」

Athlete Career Challenge カンファレンス 2024

競技を通じて培われる アスリート人材のチカラを社会へ

～中央競技団体、企業スポーツ等におけるアスリートのキャリア開発への取り組み～

当日のお写真と アンケートのご案内

当日のお写真はこれから閲覧・ダウンロードできます。
SNS投稿も可能です。



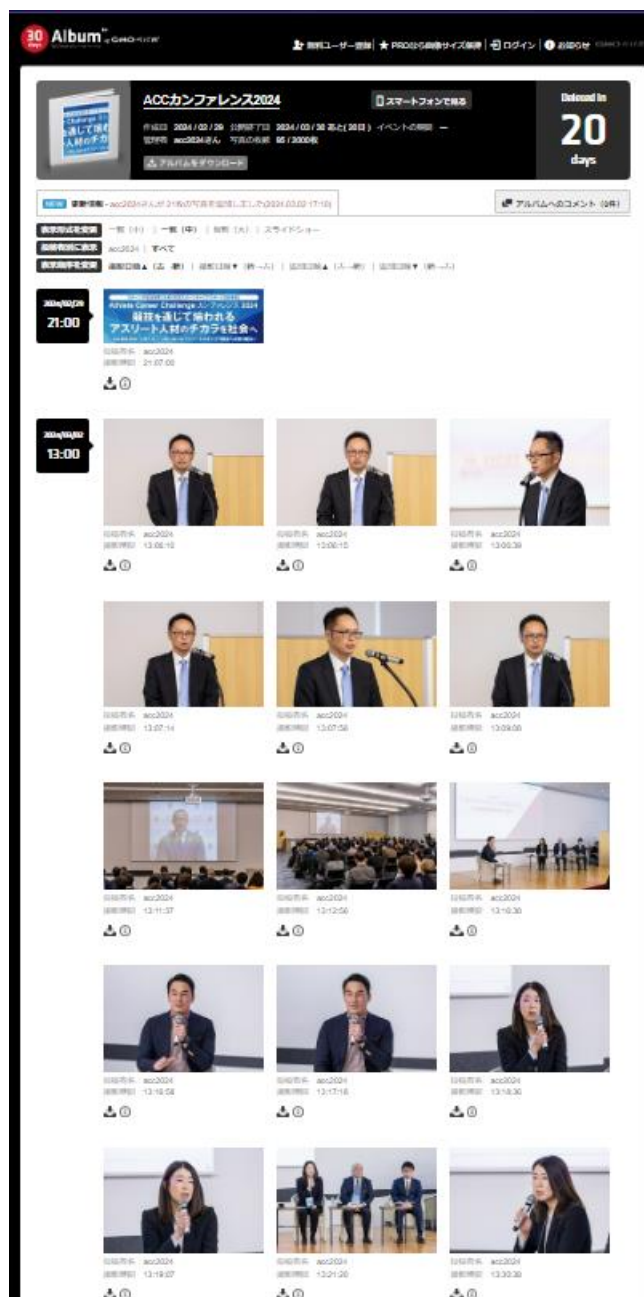
カンファレンス終了後、アンケートにご協力ください。
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者更新研修受講者は本アンケートへの回答をもって認定となります。



【注意事項】

- カンファレンス中の写真および動画の撮影はお控えください。
- 懇親会での写真撮影は問題ございませんが、SNSへの投稿については他の方の写り込みなどにご留意ください。
- ごみはお持ち帰りください。

チラシ



写真サイト

スポーツ庁「令和5年度スポーツキャリアサポート支援事業」 Athlete Career Challenge カンファレンス 2024視聴者アンケート

Athlete Career Challenge カンファレンス2024ご視聴ありがとうございました。今後のカンファレンスやスポーツキャリアサポートコンソーシアム運営への参考とさせていただきますので、本アンケートにご協力ください。

* 必須

1. お名前 *

2. ご連絡先（メールアドレス） *

3. 年齢 *

- ☐ 10代
- ☐ 20代
- ☐ 30代
- ☐ 40代
- ☐ 50代
- ☐ 60代以上

4. 性別 *

- ☐ 男
- ☐ 女
- ☐ どちらでもない
- ☐ 回答しない

5. ご職業 *

- ☐ 会社員（正社員）
- ☐ 会社員（契約社員）
- ☐ 公務員・団体職員（正社員）
- ☐ 公務員・団体職員（契約職員・非常勤）
- ☐ 自営業・自由業
- ☐ 会社役員・経営者
- ☐ パート・アルバイト
- ☐ 学生（高校生以下）
- ☐ 学生（大学生）
- ☐ 学生（大学院生）
- ☐ 専業主婦・主夫
- ☐ プロアスリート
- ☐ 社員アスリート
- ☐ 契約社員アスリート
- ☐ その他

6. 今までにスポーツの経験はありますか？ *

- ☐ ある
- ☐ ない

7. 競技レベルについて教えてください。 *

- ☐ オリンピック・パラリンピック競技大会出場またはプロリーグ出場
- ☐ 世界選手権出場レベル
- ☐ 全日本選手権出場レベル
- ☐ インカレ、インターハイ、全中選手権出場レベル
- ☐ 県大会（都・道・府・県）上位入賞レベル
- ☐ 体育会・部活動レベル
- ☐ その他

8. 所属 *

スポーツ団体は選手が所属・加盟していることを前提としており、スポーツ競技団体（中央競技団体、都道府県体育・スポーツ協会、スポーツチーム等（プロ・アマは問わない））や、スポーツ統括団体もこれに含まれます

- ☐ スポーツ団体
- ☐ 教育機関
- ☐ 民間企業
- ☐ 行政機関
- ☐ その他

9. 所属名（任意）

10. 本カンファレンスをどちらでご覧になりましたか。 *

- ☐ 会場
- ☐ オンライン(YouTube)
- ☐ オンライン(Zoom)

11. 本カンファレンスを公認スポーツ指導者更新研修としてご受講しましたか。 *

- ☐ はい
- ☐ いいえ

12. 公認スポーツ指導者保有資格名をご記載ください。 *

13. 公認スポーツ指導者登録番号（数字7桁）をご記載ください。 *

14. 本カンファレンスで学んだこと 自身の指導に活かすことをご記載ください。 *

15. 手話通訳を利用しましたか。*

- ☐ はい
- ☐ いいえ

16. 「はい」と答えた人にお聞きます。
視聴デバイスを教えてください。*

- ☐ スマートフォン
- ☐ PC
- ☐ その他

17. 手話通訳の画面は、確認できるサイズでしたか。*

- ☐ よく確認できた
- ☐ やや確認できた
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり確認できなかった
- ☐ 全く確認できなかった

18. 手話通訳の内容は、理解できましたか。*

- ☐ よく理解できた
- ☐ やや理解できた
- ☐ どちらとも言えない
- ☐ あまり理解できなかった
- ☐ 全く理解できなかった

19. オンラインにおける手話通訳の利用について、改善点がありましたら教えてください。（任意）

20. 参加動機を教えてください。*

- ☐ アスリートとして自分自身のキャリアについて考えているから
- ☐ アスリートのキャリア支援に興味があるから
- ☐ アスリートのキャリア支援に実際に関わっているから
- ☐ アスリートの採用に興味があるから
- ☐ トークセッションの登壇者に興味があったから
- ☐ カンファレンスのテーマに興味があったから
- ☐ スポーツに関するテーマに興味があったから
- ☐ その他

21. プログラムの内容について、当てはまるものにチェックをつけてください。
プログラム①「アスリートのキャリア開発に関する中央競技団体の取り組み」*

- ☐ 非常に参考になった
- ☐ やや参考になった
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり参考にならなかった
- ☐ 全く参考にならなかった

22. プログラム①で具体的に印象に残ったことは何ですか。(任意)

23. プログラム②「プロチーム・企業スポーツをもつ企業の取り組み事例」*

- ☐ 非常に参考になった
- ☐ やや参考になった
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり参考にならなかった
- ☐ 全く参考にならなかった

24. プログラム②で具体的に印象に残ったことは何ですか。(任意)

25. プログラム③「アスリート人材の可能性」*

- ☐ 非常に参考になった
- ☐ やや参考になった
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり参考にならなかった
- ☐ 全く参考にならなかった

26. 特別免許状という制度について知っていましたか。*

※特別免許状とは、教員免許状を持っていないが優れた知識経験等を有する社会人等を教員として迎え入れることにより、学校教育の多様化への対応や、その活性化を図るため、授与権者（都道府県教育委員会）の行う教育職員検定により学校権及び教科ごとに授与する「教諭」の免許状のことです。

- ☐ 知っていた
- ☐ 知らなかった

27. プログラム③で具体的に印象に残ったことは何ですか。（任意）

28. プログラム④「ACCの活動事例」*

- ☐ 非常に参考になった
- ☐ やや参考になった
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまり参考にならなかった
- ☐ 全く参考にならなかった

29. プログラム④で具体的に印象に残ったことは何ですか。（任意）

30. あなたはアスリートキャリアコーディネーター（ACC）ですか。*

- ☐ ACC認定者である
- ☐ ACC受聘者である
- ☐ ACCではない

31. ACCではないと回答をした方にお伺いします。アスリートキャリアコーディネーター育成プログラムを受講したいと思いませんか。*

- ☐ 大いにそう思う
- ☐ ややそう思う
- ☐ どちらともいえない
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ 全くそう思わない

32. スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）について知っていましたか。*

- ☐ 今回初めて知った
- ☐ 以前から知っていた

33. （企業・団体様向けのご質問）スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）への加盟を希望、もしくは興味がありますか。*

（希望する、興味があるとお答えいただいた方には、後日事務局よりご連絡をいたします。）

- ☐ 希望する
- ☐ 興味がある
- ☐ 希望しない

34. （SCSCの加盟を希望する、興味があるとお答えした方）お名前 *

35. 団体・企業名 *

36. 役職 *

37. ご連絡先（お電話番号） *

38. このカンファレンスの情報をどこで知りましたか？ *

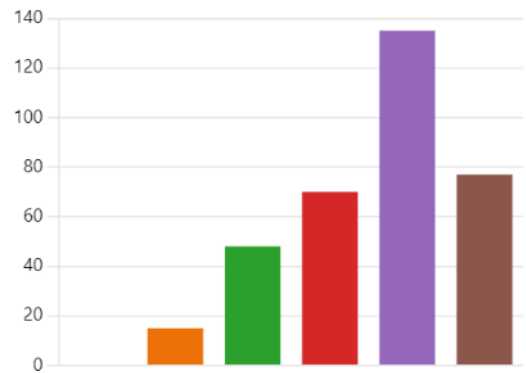
- ☐ SCSC会員として事務局からの告知
- ☐ ACC受講生として事務局からの告知
- ☐ 加盟団体から配布されたカンファレンスチラシ
- ☐ SCSCのホームページ
- ☐ SCSCのFacebook
- ☐ SCSCのTwitter
- ☐ SCSC会員の紹介
- ☐ アスリートキャリアコーディネーターからの紹介
- ☐ スポーツ庁のホームページ
- ☐ スポーツ庁のFacebook又はTwitter
- ☐ NPO法人キャリアコンサルティング協議会からの案内
- ☐ NPO法人 キャリアカウンセリング協会からの案内
- ☐ 登壇者のSNS・紹介
- ☐ プレスリリース・その他メディア掲載情報
- ☐ 産経新聞に掲載された開催告知
- ☐ その他

39. その他、ご意見・ご感想等あればご自由にお書きください。

3. 年齢

詳細

10代	0
20代	15
30代	48
40代	70
50代	135
60代以上	77



4. 性別

詳細

男	226
女	117
どちらでもない	0
回答しない	2

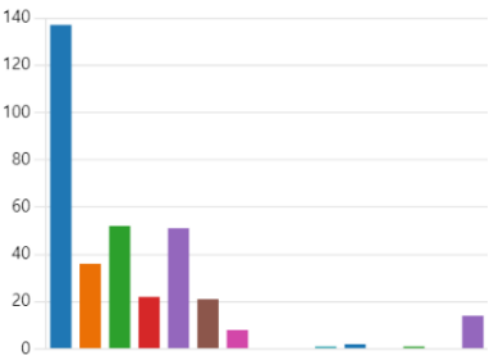


5. ご職業

詳細

インサイト

会社員（正社員）	137
会社員（契約社員）	36
公務員・団体職員（正社員）	52
公務員・団体職員（契約職員・非...	22
自営業・自由業	51
会社役員・経営者	21
パート・アルバイト	8
学生（高校生以下）	0
学生（大学生）	0
学生（大学院生）	1
専業主婦・主夫	2
プロアスリート	0
社員アスリート	1
契約社員アスリート	0
その他	14



6. 今までにスポーツの経験はありますか？

[詳細](#)
[💡 インサイト](#)

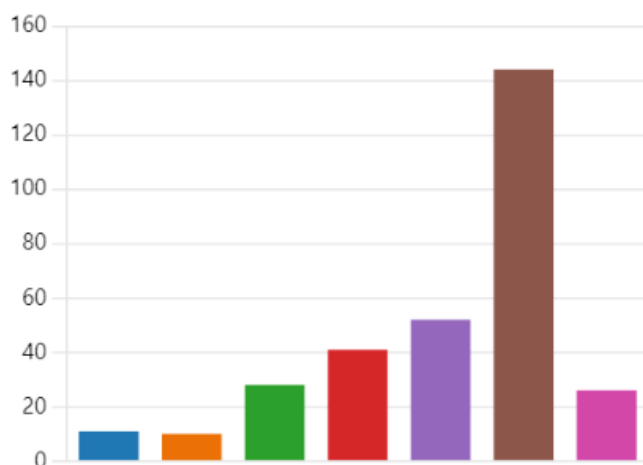
● ある	311
● ない	33



7. 競技レベルについて教えてください。

[詳細](#)
[💡 インサイト](#)

● オリンピック・パラリンピック競技大会...	11
● 世界選手権出場レベル	10
● 全日本選手権出場レベル	28
● インカレ、インターハイ、全中選手権...	41
● 県大会（都・道・府・県）上位入...	52
● 体育会・部活動レベル	144
● その他	26



8. 所属

[詳細](#)
[💡 インサイト](#)

● スポーツ団体	100
● 教育機関	68
● 民間企業	117
● 行政機関	13
● その他	47



9. 所属名（任意）

12回答者 (8%) この質問に 大学 回答しました。

独立行政法人日本スポーツ振興センター キリンホールディングス 日本キャリア開発協会会員
宮城県小学生バレーボール連盟 やかげスポーツクラブ
リクルート JKC国際空手道 拳聖塾 日本障がい者サッカー連盟
鳥取県立米子西高等学校 弓道連盟 大学 一般社 神奈川県ソフトボール協会
手
スポーツクラブNAS株式会社 びあ株式会社 個人 法人日本パラバドミントン連盟
日本トーター株式会社 株式会社アソウ・ヒューマニーセンター

10. 本カンファレンスをどちらでご覧になりましたか。

詳細 インサイト

	会場	78
	オンライン(YouTube)	90
	オンライン(Zoom)	177



11. 本カンファレンスを公認スポーツ指導者更新研修としてご受講しましたか。

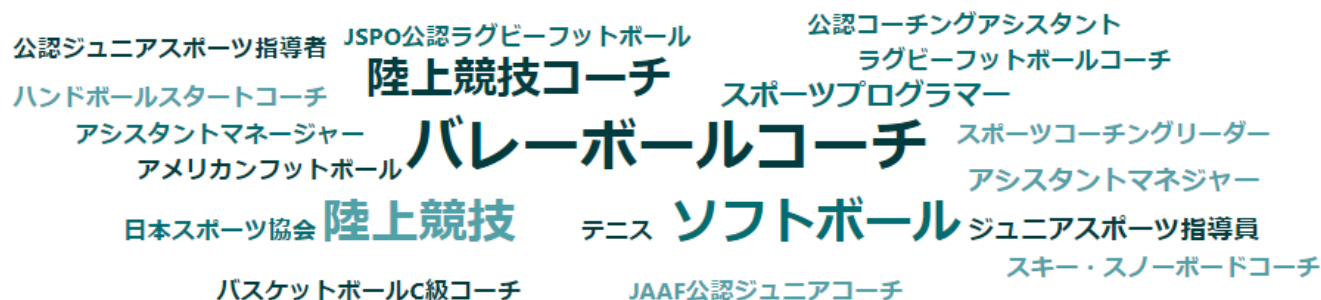
詳細 インサイト

	はい	134
	いいえ	211



12. 公認スポーツ指導者保有資格名をご記載ください。

13回答者 (10%) この質問に バレーボールコーチ回答しました。



※13問目は指導者登録番号入力であるため割愛。

14. 本カンファレンスで学んだこと 自身の指導に活かすことをご記載ください。

15. 手話通訳を利用しましたか。

[詳細](#)

● はい	2
● いいえ	343



16. 「はい」と答えた人にお聞きます。視聴デバイスを教えてください。

[詳細](#)

● スマートフォン	0
● PC	1
● その他	1



17. 手話通訳の画面は、確認できるサイズでしたか。

[詳細](#)

● よく確認できた	1
● やや確認できた	1
● どちらともいえない	0
● あまり確認できなかった	0
● 全く確認できなかった	0



18. 手話通訳の内容は、理解できましたか。

詳細

よく理解できた	0
やや理解できた	0
どちらとも言えない	0
あまり理解できなかった	0
全く理解できなかった	2



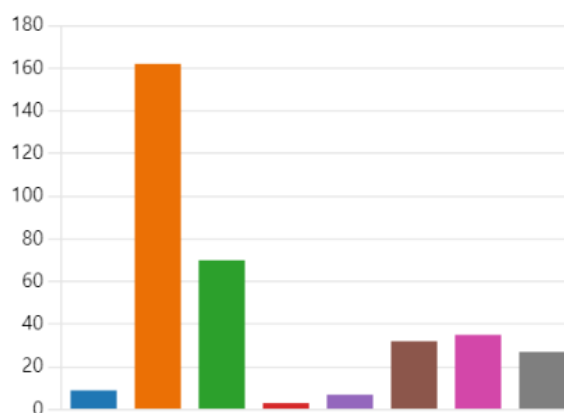
※回答者のコメントを確認したところ、手話通訳が必要な方からの回答ではありませんでした。

20. 参加動機を教えてください。

詳細

🔍 インサイト

アスリートとして自分自身のキャリアに...	9
アスリートのキャリア支援に興味があ...	162
アスリートのキャリア支援に実際に関...	70
アスリートの採用に興味があるから	3
トークセッションの登壇者に興味があ...	7
カンファレンスのテーマに興味があっ...	32
スポーツに関するテーマに興味があっ...	35
その他	27



21. プログラムの内容について、当てはまるものにチェックをつけてください。 プログラム①「アスリートのキャリア開発に関する中央競技団体の取り組み」

詳細

インサイト

非常に参考になった	178
やや参考になった	139
どちらともいえない	23
あまり参考にならなかった	5
全く参考にならなかった	0



プログラム①で具体的に印象に残ったことは何ですか。（抜粋）

NFへ貢献する（大会運営を手伝う、選手を育成するなど）というキャリアについて、考えさせる時間を設けることも視野に入れた方が良いと感じた。なぜなら、大会の運営、選手の育成の高齢化が否めないからだ。

SCSCとしてアスリート向けの就活支援などできないかと感じました。

SCSCなど専門の機関がある事 また、スポーツ団体によっては連携して選手の活動強化に取り組んでいること

SCSCのプラットフォームが利用できること

アスリートとしての活動してきたことで得られたものを言語化することが大切だと感じました。自身はまだ活かせるところがわかっておらず、客観的な視点ももらいながら言語化していきたいと感じました。

アスリートを育成する上でキャリアビジョンを考える必要性が浸透しつつあること。

キャリア形成を、競技を学びつつシニア世代から行っていく取り組みが印象的でした。

ジュニア期に競技だけやっていていいのか、今やっていることが今後生きてくるのかの選手自身の意見と親の意見

スケルトンにおけるキャリア支援プログラムの開拓方法

スケルトンの方の話

スポーツで培った能力は、社会で生かせることが多いということ。

セカンドキャリアの事業があることを始めて知りました。

セカンドではなくデュアルキャリアの重要性

それぞれの団体が試行錯誤しながらも、選手のその後について真剣に考えている姿がうかがえた。

テニスの取り組み

テニスの方が仰っていたSCSCとの連携。私も個人的に支援することがありますが、SCSCの持つコンテンツなどが活用できれば良いなと思いました。

テニス選手がコミュニケーション能力が高い理由がわかったため。またボブスレー競技の現状理解が深まったため

デュアルキャリア教育の大切さ

どのスポーツでも人間力や実行力など社会人として必要なスキルを身につけることができているので、アスリート本人や周囲の人がきちんとその部分を評価できるようにしないといけないと思いました。どうしても仕事に必要なスキルのみを考慮してしまいがちだと思います。

どの競技団体もセカンドキャリアに関しての取り組みは始まったばかりなんだということ。多種多様な課題があること。

なにができるかわからないが、とにかくやってみるという意識は大事だと感じた。

23. プログラム②「プロチーム・企業スポーツをもつ企業の取り組み事例」

詳細

💡 インサイト

● 非常に参考になった	202
● やや参考になった	123
● どちらともいえない	15
● あまり参考にならなかった	4
● 全く参考にならなかった	1



プログラム②で具体的に印象に残ったことは何ですか。（抜粋）

「伴走するということは関わり続けること」このことばがもっとも印象に残った

NTTグループのキャリアコンサルタントの力でチームを強くするという発想

NTTコミュニケーションのキャリア支援の企業側の取り組みとアスリートの両者の話を聞く事ができ、支援の参考になった。

NTTコミュニケーションのラグビー選手に対するキャリア支援。

NTTやトヨタの取り組みは人材資源の活用という意味でも取り組み方は違うが目的は同じ。プロとは少し違うなど。弊社もプロチームとアマ選手が所属するが育成が上手くいかないのもキャリア支援が行き届いてないからだと思った。

NTT様のアマとプロの合同について

アスリートの企業内での活用方法について参考になった

アスリートを抱える企業にはアスリートキャリアを考える部署が必要だと思いました。

キャリアコンサルタントの関わり

キャリア形成にとってプロに進めるのか、その後の人生はどうなるのかが不透明だったので、引退後の企業の取り組みについて興味深く見ました。

キャリア支援は寄り添うこと、伴奏し続けることが大切

サポートシステムの大切さ

サポートもひとりひとりではなくチームでやるのがいいと思った。

スポーツチームにキャリア育成を行っていたり、会社としてアスリート社員の部門がある事

スポーツと仕事の両立の難しさ

それぞれの企業で独自の取り組みを進めていること。特にNTTさんのOB社員による講義や定期的なキャリア面談はデュアルキャリアを進んでいるアスリートに心強い施策と思いました。

チームスポーツとして選手を雇用している企業での取り組みを知ることができた。競技を中心に個人で雇っていただき競技を続けてきた自分にとっては、その先も自分でまたリスタートしなければならず、難しい部分もあるなと感じました。とても参考にはなりました。

トヨタの取り組み

トヨタは駆伝にも力を入れているので、実業団としてのあり方を模索する上で非常に参考になった。

トヨタ自動車の取り組み。固定概念を捨て、その選手にあった職種をマッチングする取り組み。

トヨタ自動車の取組

トヨタ様の一体感醸成が一番というコメント

プロ、大企業の取組が、広くスポーツ界に広がる事を期待します。

プロや実業団を抱える企業のアスリートへのキャリア支援の取り組みを知ることが出来た

25. プログラム③「アスリート人材の可能性」

詳細

💡 インサイト

非常に参考になった	197
やや参考になった	125
どちらともいえない	21
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0



プログラム③で具体的に印象に残ったことは何ですか。（抜粋）

アスリートから農業に。ちょっとした会話がきっかけで人生が変わったこと。

アスリートのプライドがキャリアチェンジのスタートの足かせになる可能性がある

アスリートのみなさんがご自身の強みを活かしてセカンドキャリアを歩んでいるところ。ターニングポイントはそれぞれでしたが厳しい世界を過ごしていたのだと認識しました。

アスリートの経験は、多くは社会人として生かせるスキルであることを確信させてくれました。

アスリートの特殊キャリアが世間的にも認知されはじめていると感じた

アスリートの特性を存分に発揮できた事例であったが、そうでなかった人も多数いるだろうと危惧する

アスリートの方の実際の声が聞けて、スポーツだけじゃない業種での活躍に驚いた

アスリートは、目の前の勝利・成功に向けての努力や見通し立てることは得意だが、長期的ビジョンを持つことは必ずしもできていない。

アスリートを取り巻く周囲の協力

アスリート自身でなんとかしたい、道を切り開きたい、そんな強い意志のある方は自身で道を切り開くんだな、と思う。そういう人はどうしたら育つか、それを幼少期からどう育てるかが課題ではないか。

アスリート人材の可能性を感じられました。農業のお話とても興味深い。

アメリカで特別免許のような立場で教員をしていたことがあるので、日本にもあったんだと初めて知った。ただ基準が曖昧な気がした。

いろいろな進路選択の可能性

キャリアを考える上で、きっかけは偶然であってもアスリートとして努力できる力はどうなステージでも活かせることを確信した。

キャリアを生かした人生設計

このようにセカンドキャリアで活躍されている方々の具体的が知れて参考になった。

スポーツで身につけたスキルや、経験により頑張ることができていたところ

スポーツと農協の相性が良いと感じていたため、具体的な話が聞けて良かった

スポーツ競技経験が社会でどのように役に立ったか、特にレジリエンスという点。

それぞれの元アスリートが、さまざまなきっかけでセカンドキャリアに進み、納得感を持って働かれていてとても素敵だと感じました。

それぞれ生き生きしていた

プロスポーツ選手は、実力がなければ解雇されることを通して、解雇されてもへこたれないレジリエンス力。

ペヤングの女子ソフトボールの方の話

引退後にその競技に携わるのではなく、全く別の仕事へ就く意思の強さと行動力

引退後のキャリアの成功については、やはりいい出会いと決断なのだと感じました。

引退後の道筋は十人十色ということ。お三方の元々持っていた興味関心が引退後どう活かされているかがとても面白かった。

26. 特別免許状という制度について知っていましたか。

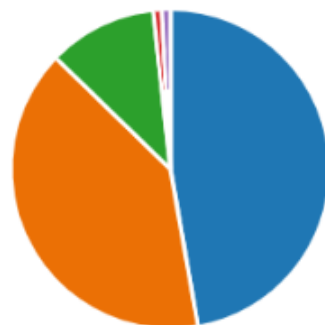


28. プログラム④「ACCの活動事例」

詳細

インサイト

非常に参考になった	163
やや参考になった	138
どちらともいえない	38
あまり参考にならなかった	3
全く参考にならなかった	3



プログラム④で具体的に印象に残ったことは何ですか。（抜粋）

ACCの活動事例を直接活動している本人の言葉で聞けたから

アスリートに特化したキャリア支援というよりは、ターゲット競技での特性もとらえた支援の在り方を探索されている様子が知れたアスリートのキャリア形成に尽力してくださる方がたくさんいること。

アスリートのセカンドキャリアで一番の問題はモチベーションだと考えている。一度高いレベルで競技を経験するとそれ以上の楽しさや興奮、やりがいなどを見つけられずに腐ってしまうアスリートも多いのではないかな。そこをどうサポートしていくかが重要になってくると考える。

キャリアとスポーツは勿論、アスリート＝人間力が大事だと思います。

キャリア形成についての取り組みが面白く感じました。

こちらに関しては、個人の印象に残るものはありませんでしたが、試合が少ない子供達に対しての取り組みは参考になりました。スポンサーも特がないと出資してくれない、お互いにメリットがあるようなアイデアが重要

サッカーをされている息子さんのお話が現実の問題を良く反映しているなと感じました

サッカー選手のキャリア支援について

サポート支援の大切さ

さまざまな取り組み内容

センコーグループの取り組み

ターニングポイントを乗り越えて、粘り強く道を切り開こうとする努力に頭がさがりました。

トップアスリートのみならず全てのアスリートにキャリアカウンセリングを提供できるシステムを構築したいと感じた

パラアスリートが抱える今後の課題が見えた

まずは行動。このような活動をしている方との接点を作りたいです。

やれることにチャレンジしていく勇氣、行動力

一人一人に合わせたキャリア対応が必要だということがわかった。

皆さん、それぞれの活動に素晴らしい点を感じた。各企業とも連携し、さらなる取り組みを望みたい。

活動事例のフィードバックが少なかった

現在のキャリア支援の形を知ることで現代の課題が見えてきてよかった。スポーツ自体に対する認識（小中高の部活の段階から選手はスポーツをすることが正義で、他の勉強やスポーツに関係する仕事に興味をもつことは薦めないことなど）や周りに合わせるといった日本人によくある思考の傾向といったもので、その人の意思やそこからのキャリアに影響を与えるようなことはしたくないと感じた。

現役生活と今後のビジネスを考えることでの相乗効果

公立高校サッカー部の話は、競技特性に通ずるものがあり、参考になった。

今後の障害者雇用とパラ選手の引退後について

指導者同様にACC認定者の普及が必要だと強く感じた。

障がい者アスリートの話をもう少し聞きたかった。

障がい者が推進するアスリートキャリアについて参考になった

30. あなたはアスリートキャリアコーディネーター（ACC）ですか。

[詳細](#)

 インサイト

● ACC認定者である	136
● ACC受講者である	9
● ACCではない	200



31. ACCではないと回答をした方にお伺いします。アスリートキャリアコーディネーター育成プログラムを受講したいと思いますか。

[詳細](#)

● 大いにそう思う	57
● ややそう思う	43
● どちらともいえない	75
● あまりそう思わない	17
● 全くそう思わない	8



32. スポーツキャリアサポートコンソーシアム（SCSC）について知っていましたか。

[詳細](#)

 インサイト

● 今回初めて知った	157
● 以前から知っていた	188

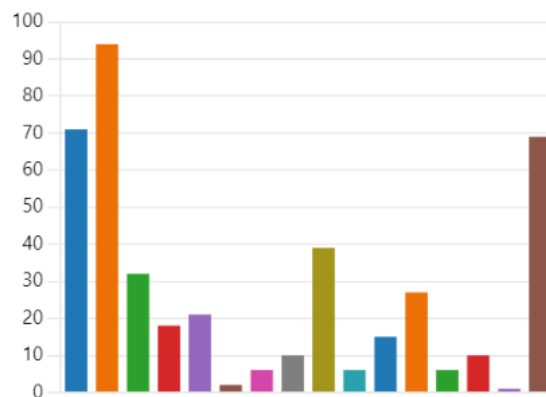


※33～37問目はSCSC加盟に興味がある方へのご案内用（お名前やメールアドレス等）であるため割愛。

38. このカンファレンスの情報をどこで知りましたか？

詳細

SCSC会員として事務局からの告知	71
ACC受講生として事務局からの告知	94
加盟団体から配布されたカンファレン...	32
SCSCのホームページ	18
SCSCのFacebook	21
SCSCのTwitter	2
SCSC会員の紹介	6
アスリートキャリアコーディネーターから...	10
スポーツ庁のホームページ	39
スポーツ庁のFacebook又はTwitter	6
NPO法人キャリアコンサルティング協...	15
NPO法人 キャリアカウンセリング協...	27
登壇者のSNS・紹介	6
プレスリリース・その他メディア掲載情報	10
産経新聞に掲載された開催告知	1
その他	69



その他、ご意見・ご感想等あればご自由にお書きください。

有難うございました。大変勉強になりました。

本日はありがとうございました！

プログラムは3つくらいにして、その分セッションの時間を設けるともっとよかったです。

現役のアスリートの方との座談会があるとっと良かったと思います。

非常に内容のあるものだと思いますが、もう少しお一人お一人の話を聞きたかったです。

プログラムの詰め込み過ぎでは？と思いました。

非常に参考になるお話を拝聴することが出来ました。日程が合えば次回も参加したいと思いました。ありがとうございました。

非常に貴重なご講演ありがとうございました。

朝日放送鳥木さんとお話する機会を作りたいと思います。

短期的達成と長期的視点のお話しもありましたが、どちらにせよ、PDCAが、物事に取り組む姿勢として身につけていってほしいのは、どんな場面でも、個としても、組織としても、成長には

欠かせない要素なので、P Rすべき重要ポイントだと思います。

大変有意義な内容でした。自身も色んなスポーツをやっていましたし、前職では男女ともに日本国内トップレベルのバレーボールチームを持った企業に所属し、人事部門の経験や、自身の部下にも元アスリートがいたので、本日の内容はとても共感できるものでした。自身もキャリアコンサルタント資格を持っていますので、何かお手伝いできることがあれば、やりたいです。

大変参考になりました。ありがとうございました。

大変興味深くお話を伺いことができました。私も個人的に進路に関して相談を受けるようになり、キャリアコンサルタントの資格を取得しましたが、更に一步進めてACCとしても活動できればと考えております。

現在、コーチングの資格取得の勉強もしており（スポーツコーチではなく）、併せてアスリートやアスリートを目指す子ども、親御さん向けにサポートができればと考えております。

大変貴重なお話を無料で公開して頂きありがとうございました。

体調が悪く現地に行けなくて残念でしたが、オンラインで参加しました。時間の関係で質問の時間がなかったのが残念でした。

多様な関係者から話を聞ける貴重な機会だと思います。是非毎年開催してほしいです。

多いに興味が有ります。また、広めていきたいと思いました。そして子供がいる為長時間の講習などは難しい現状ですがオンライン、zoomで開催して頂き受講する事ができました。ありがとうございました。

選手のキャリア教育、海外（特に欧米）はどうなっているのだろうか。気になった。

昔からスポーツマネジメントに興味があり仕事にしたいと考えていたが、給与の面や社会保障の面で企業就職を選択した。年輩いた学歴もない庶民だが、子ども達の未来の為に何かお手伝いが出来ればと考えている。

上記に書いた通りです。

貴重な研修をありがとうございました。

重複しますが、セカンドキャリアやデュアルキャリア等、受講者でなければ意味不明な言葉が多いと感じる。キャリア指導していく中で参考になる刊行物があれば低学年層の保護者の意識改革に繋がりますスポーツ界が活性化されると思う。指導していて保護者からアスリートという言葉の他人事的な雰囲気、スポーツ通じた人材育成意識はトップ選手以外は極めて低く「習い事の1つ」という概念が想定以上に根強いです。

資格更新のために講習を受けましたが、それ以上の知識を得ることができた。

セカンドキャリアについて考える場がこれまでなかったので、今後携わっていくアスリートには引退後のことや、どうなっていきたいのかを話し合う場を作っていきたいと思いました。

また、自分自身が競技引退後の可能性について知識をもっと深める必要があると思いました。

貴重な場に参加させていただきありがとうございました。

私自身、様々なスポーツを行ってきたことや、前職の会社は男女ともにバレーボールの国内トップチームを持っていたので、選手の引退後のキャリア支援等に人事部門として関わった経験、部下にも引退選手がいたこともあり、今回のカンファレンスの内容はとても共感できるものでした。

また、私自身前職を退職後にキャリアコンサルタント資格を取得しましたので、何か自分にできることがないかという視点で、カンファレンス内容を視聴させていただきました。ありがとうございました。

今まではスポーツに対して指導していましたが、そのスポーツをやめた後の事はあまり考えていませんでした。今回受講してその人のアスリートキャリア形成が必要だと思いました。登壇頂いた方々、企画、準備して頂いた方々、ありがとうございました。

国家資格キャリアコンサルタントとして、また自分のキャリアを通じて、アスリートの方のキャリア形成に携わり、自分なりの支援をしたいと思った。

元同僚の坂田さんのご活躍に驚きと嬉しさを感じました。

皆さんのお話を伺いながら水泳選手だった娘やサッカー選手だった息子に対して感じた「将来へのモヤモヤ感」を思い出しました。ミドルシニアのキャリアカウンセリングを生業としているので、当事者に一番近い親の精神的な支援と情報提供でお手伝いできたらと思いました。

参加者、視聴者について

Athlete Career Challenge カンファレンス2024

項目	定義	人数
【お申込について】		
お申込者 (会場)	PASS MARKET経由で研修に現地参加でのお申し込みがあった人数	136名
お申込者 (Zoom)	PASS MARKET経由で研修にzoom参加でのお申し込みがあった人数	218名
お申込者 (YouTube)	PASS MARKET経由で研修にYouTube視聴でのお申し込みがあった人数	243名

【当日の参加について】

当日参加者 (現地)	当日に現地で参加した方の総数	134名
当日視聴者 (zoom)	当日にzoomで参加した方の総数	171名
当日視聴者 (YouTube)	当日にYouTubeで視聴した方の数（同時最大視聴者数）	161名

メディア関係

項目	定義	人数
現地取材メディア	会場に来場し取材を行ったメディア数	6社
Online Press 参加メディア	オンラインにてカンファレンスの様子取材したメディア数	1社
クリッピング結果	ACCカンファレンス2024に関する記事を掲載したメディア数	16社

申込者内訳

項目	目標	結果（合計）
現役アスリート	100～150	13
指導者	20～30	158
NF、競技団体、チーム関係者	20	56
企業	20	198

4つの目標のうち3つの項目について達成した。アスリートの参加が少なかったのは、土曜日での開催であることでトレーニングや試合の日程と重なってしまったことが原因であると推測される。



(YouTubeの様子)

総括

【当日までの準備について】

- ポスターの制作や広報・申込サイトの構築、PR TIMESへの掲載などについてはスポーツキャリアサポートコンソーシアム事務局様と連携し、納品することができた。
- 参加者の申し込みについて、現地での参加申込者が 136 名（当日受講者は 96 名、うち公認スポーツ指導者受講生は 6 名）、YouTube での視聴申込者は 243 名（ライブ視聴者は 161 名）、Zoom での視聴申込者は 218 名（ライブ視聴者は 171 名）であった。公認スポーツ指導者研修関係の申込については、直前まで日本スポーツ協会の申込システムのトラブルなどがあったが、スポーツキャリアサポートコンソーシアム事務局と連携をし、ご案内と当日受講、アンケート提出まで実施することができた。
- 現役アスリートの申込者は 13 名（目標値：100～150 名）、公認スポーツ指導者は 158 名（目標値：20～30 名）、NF 等関係者は 56 名（目標値：20 名）、企業関係者は 198 名（目標値：20 名）であった。今回のカンファレンスでは、NF と企業のプログラムがあったため、NF と企業関係者の参加者が多かった。
- 現役アスリートの参加が少なかったのは、土曜日での開催であることでトレーニングや試合の日程と重なってしまったことが要因であると推測される。現役アスリートにライブで視聴してもらうためには、開催日時（曜日と時間）の検討が必要だと考える。
- 受講者より案内メールが届かない旨の問い合わせが 5 件ほどあったが、受講者へのメール再送、お電話での対応等の迅速な対応をしたことで、当日の問い合わせを最小限に抑えることができた。

【当日の運営について】

- 一般申込者、メディア関係者、コンソーシアム関係者の受付をスムーズに進行できた。
- カンファレンス終了後の名刺交換会も事務局と連携し、スムーズにお客様を会場まで誘導することができた。
- 今年度の新しい取り組みとして、当日のカンファレンスの写真をダウンロードできるサイトを開設し、来場者特典として当日のチラシに掲載・座席へ配架した。こちらは来場者の SNS での発信を促すことが狙いである。チラシにはアンケートの QR コードも掲載し、来場者からのアンケートの回収率向上を目指した。

【進行、各プログラムに関して】

- 全体の進行時間についてはプログラム 4 が 10 分延長となった影響で終了時間が 16:40 となったが、概ね予定通りに進行することができた。こちらは①事務局と連携し、事前に登壇者の皆様へタイムスケジュールのご案内やファシリテーターの方と打ち合わせをのご案内できたこと、②進行ディレクターを中心としたリハーサルを登壇者の皆様と実施できたこと、③カンファレンス中は進行ディレクターが登壇者へ終了時間のご案内をするなどのタイムマネジメントを実施できたことが要因と考える。
- カンファレンスでは YouTube、Zoom の配信ともに終了まで音声トラブルや映像の乱れなどなく、スムーズに実施することができた。手話通訳を入れるというオーダーについてもしっかり対応し、配信することができた。

【アンケート結果】

- アンケートも当日の QR コードでのご案内やリマインダーメールの配信を受け 345 件と多くの方から回答を頂くことができた。
- 回答を見ると、カンファレンスの満足度（プログラム 1～4 にて参考になった、非常に参考になったと回答した方）が 9 割を超えており、非常に満足度の高いカンファレンスであったといえる。